

意見一覧及び対応方針

回数	受付日	意見者	意見要旨	対応方針
1 平成29年度 第3回	5月31日	森田 二三江	<p>地域包括支援センターの取り組み内容等に差があるように感じる。地域ケア会議の開催が必要だと思うが、開けていないセンターもあるのではないかと思う。センター長やスタッフの異動などにより、対応が変わってしまうことがある。以上のような、センター間での差に対する評価・対策が必要ではないか。</p>	<p>地域包括支援センターでは、地域のニーズなどに合わせた取り組みを行っています。このため、結果として取り組む内容等に差があるように捉えられてしまうこともあるようですが、すべてのセンターでは、地域のニーズにあった取り組みを実施するよう努めておりますので、ご要望等がございましたら是非、センターまでご一報ください。</p> <p>地域ケア会議については、平成28年にはセンター全体で177回実施しており、回数のばらつきはあるものの、すべてのセンターで実施しています。しかし、開けていないセンターもあるとのこと意見をいただきましたので、開催状況等の周知が不足しているなどの課題があるものと考えております。今後は、周知方法等について、検討していきたいと考えております。</p> <p>センター職員の人事異動などは、職員個人や法人全体での人事によるものであるため、やむを得ないものと考えております。ただし、そうした場合の地域への影響は最小限にとどめるよう受託者に対して申し入れをしているところです。</p> <p>センターの評価については、センターの自己評価をもとに、高齢者福祉課において評価を実施しております。今後も、いただいたご意見などを参考にセンターの適切な運営を行えるよう評価を実施してまいります。</p>
2 平成29年度 第3回	6月6日	井出 勲	<ul style="list-style-type: none"> ・第6期計画におけるサロンの設置目標140か所に対しては、目標値を超えた設置数となっているが、誰もが歩いていける範囲にサロンがある状態が望ましい。 ・地域包括ケアシステムの推進に重要である、多様な主体による生活支援・介護予防サービスの重層的な提供の整備に関する計画について、第7期ではより具体的に方向性を打ち出していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の憩いの場であるサロンについては、基本的な考え方として、サロン設置の総数を、徒歩圏内（中学校区）での高齢者人口などを勘案して、1中学校区あたり3～5程度を設置目標とする方向で検討します。 ・生活支援・介護予防サービスにおける「多様なサービス（基準緩和、住民主体、短期集中サービス等）」の整備計画については、高齢者のニーズや現状のサービス利用状況等の状態を把握するとともに、高齢者人口や認定者数等の推計値にもとづくサービス見込量等を踏まえ、本計画で具体的な方向性を示します。 <p>また、介護予防にかかる給付費の増加や介護人材が不足する背景から、自主による介護予防や住民主体による助け合いの活動を支援し、生活支援・介護予防サービスとあわせて重層的に高齢者の暮らしを支える仕組みづくりを進めます。</p>